



並木中等story

令和4年2月15日号

支えがあると・・・

誰でも「ああ、困ったなあ。」と思うことがあります。私は、ほぼ毎日のようにこのように悩んでいます。しかも、レポートはたくさん、軽いものから重いものまであります。しかし、中学・高校生の時より悩んでいる時間は大幅に短いと思います。それはなぜか。一つはこれまで解決してきた経験があるからです。深刻な悩みを何度も経験すると、ちょっとした悩みは「まあ、このように対処しよう。」と思えるようになります。また、新たな難問が起きても、大切にしている言葉の支えがあると、「まあ、何とかなるだろう！」という気分になれるのです。その言葉は、(昨年度の集会で紹介したものです)倉田百三氏の『出家とその弟子』(新潮文庫)に出てくる文章です。



「**淋しい時は淋しが
るがいい。運命がお前を育てているのだ
よ。只何事も一すじの心で真面目にやれ。
ひねくれたり、ごまかしたり、自分を欺
いたりしないで、自分の心の願いに忠実
に従え。それだけ心得ていればよいのだ。
何が自分の心の本当の願いかというこ
とも、すぐには解るものではない。様々
な迷いを自分で作り出すからな。しか
し、真面目であれば、それを見出す智
恵が次第に磨き出されるものだ。運命
にまっすぐに向え。智慧は運命だけ
が磨きだすのだ**」皆さんも自分の支えとなる文章を捜
してみてください。

《祝！日本生物学オリンピック2021本選 金賞、銀賞、銅賞を受賞》

日本生物学オリンピック2021本選で本校6年の小松さんが金賞、同じく小野さんが銀賞、同じく須藤さんが銅賞を受賞しました。3名は参加者3080名、本選参加者80名からの受賞です。おめでとうございます。

